

発行者:愛媛県東温市横河原366 国立病院機構愛媛医療センター 発行責任者:院長 舟田淳一 <https://ehime.hosp.go.jp>



錦繡:東温市 山之内



私の宝物



我が家には14歳になるメスのトイプードルがいます。名前は「モコ」と言います。

40歳を越えて初めて犬を飼ったため餌のこと、接し方、トイレの教育等悪戦苦闘しましたが、数ヶ月後にはお互い心が通じ合い?何とか落ち着きました。毎日仕事から戻ると玄関で出迎え喜んでくれ、我が家の中でどこに行っても付いてきて甘えてきて、癒される日々を過ごしておりました。

飼い始めて4年目になり単身赴任することになりました。単身赴任当初は、毎日夜になると玄関前で伏せて私の帰宅を待っていたようですが、1ヶ月程したら毎週金曜日の夜には玄関前で私の帰りを待つようになったようです。帰宅をすれば数年ぶりの再会か?と言わんばかりの喜びようで、私の疲れも飛んでいきました。そんな可愛い娘(モコ)に会うため、当然週末毎に自宅に帰っていました。6年ぶりに自宅から通える病院へ転勤したため、

また、娘(モコ)と一緒に過ごすことができました。

2年後のある日、右足に脂肪腫ができそれを気にして舐め続けるため、獣医に相談に行くと「酷く腫れておりこれ以上腫れると足の指を切断しないといけないかも」と言われ、脂肪腫摘出術をすることになりましたが、手



術当日の術前検査で肝臓の数値が著しく悪かったため、手術は中止となりました。薬を服用して2ヶ月様子を見ましたが改善しないため、肝臓のエコー検査をすると1cm程度の腫瘍が見つかりました。その2ヶ月後再度エコー検査すると更に大きくなっています。獣医より山口大学獣医学部附属病院を紹介され、高速道路を2時間かけて診察に行きました。全身麻酔下による造影CTと生検を行い結果は「悪性腫瘍」でした。手術の説明を受け、ぐったりと疲れ果てた娘(モコ)を連れ泣きながら帰りました。手術を受けるかどうか悩みましたが「腫瘍のある場所が太い血管が通っている傍でリスクが高いこと、再発リスクがあること等」を考慮し、手術しなければ余命は約2年と言われましたが、小さな娘(モコ)に大きな負担を強いることが可哀そうだと判断し手術を受けないことに決めました。

あれから3年経過しましたが、今年の7月には14歳の誕生日を迎えることができました。最近、猛暑と病気進行のため食が細くなり痩せてしましましたが、私たち家族に多くの癒しをくれている娘(モコ)には、感謝しつつまだ元気に過ごしてくれることを願っています。



事務部長 山崎 貴元

当ステーションは、松山市鷹子町に位置し、鷹子駅から徒歩わずか2分というアクセスの良い場所にあります。医療法人聖光会が運営し、鷹の子病院を母体とする当ステーションは、1996年の開設以来、地域に根差した訪問看護を提供し、利用者様一人ひとりの「その人らしい生活」を支えることを目指しています。

看護師6名・理学療法士1名・作業療法士2名・言語聴覚士1名が所属し、受け持ち制でのチームケアを行っています。スタッフ同士が連携し、「個別性」「継続性」を重視しつつ、医療・福祉との連携を密にしながら、ご自宅での生活を支えるサポートを実践しています。慢性疾患の管理、神経難病の方への医療的ケアやリハビリなど医療度の高い方にも対応し、認知症ケア、終末期看護など幅広い対応が可能です。旧松山市・東温市・旧砥部町に訪問可能で、緊急時には24時間体制で電話対応・臨時訪問にも迅速に対応しています。

利用者様やご家族の不安や悩みに寄り添いながら、心のこもったケアを提供することが私たちの使命です。地域の皆さまの健康と笑顔を支えるパートナーとして、これからも「ご自宅で安心して笑顔ある暮らしを続けたい」そんな想いに寄り添いながら、温かく手厚いケアをお届けします。どうぞお気軽にお問い合わせください。



にゅう ふえいす どくた～

はじめまして。現在、愛媛医療センターで勤務しております、消化器内科医師の横山桂と申します。2025年6月よりこちらに赴任し、地域医療の一助となれるよう、日々診療に励んでおります。

私は愛媛県松山市の出身で、松山東高等学校を卒業後、地元の愛媛大学医学部に進学しました。実は学生時代は消化器内科に特別な興味があったわけではありませんでした。初期研修のなかで、内視鏡診療や幅広い疾患を扱う消化器内科の奥深さに触れ、次第に強く惹かれるようになりました。以降、消化器内科医としてのキャリアを歩み、診断力・処置技術の向上を目指して、日々研鑽を続けています。

趣味と言えるものは特にありませんが、プライベートでは2歳の息子と過ごす時間が何よりの楽しみです。週末には、家族で子ども向けの遊び場

に出かけることが多く、息子の笑顔や成長を間近で感じることが、日々の活力となっています。子育てはまだまだ試行錯誤の連続ですが、医師としての自分とはまた違った視点を得られる貴重な経験だと感じています。

地元・愛媛で医療に携わることを誇りに思っているながら、地域の皆さまのお役に立てるよう努めていきたいと思っております。患者様一人ひとりに寄り添った、丁寧で誠実な診療を心がけてまいりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。



健康相談・血圧測定

看護の日イベント

風船もあるよ

看護の日は、看護の心、ケアの心、助け合いの心を育むとともに看護や看護師への理解を深めることを目的としています。近代看護を築いたフレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日が国際看護の日と制定されました。つまり、ナイチンゲールの看護の心を受け継ぐ記念日ということなんですね。

看護の日には、全国の医療関係機関で様々なイベントが開催されます。当院でも、毎年看護の日のイベントを行っていましたが、数年間は小規模開催になっており、地域の皆さんと直接交流することができませんでした。

しかし、今年度は血圧測定、健康相談などを企画し、1か月遅れながら6月15日(日)フジ志津川



おかあさんがパシャリ



未来のドクター？



店前においてイベントを開催することができました。60名以上の多くの方々にご来場いただき、おかげ様で盛況でした。お子様には風船のプレゼントの他、小さなナース服や白衣を着て写真をパシャリ！将来は看護師さんになってくれるかな？可愛らしい姿に癒されました。

大人の方には血圧測定を勧めると「高いから測りたくないんだけどな」と言いながらも「日頃からどんなことに気を付ければいいのか」など相談をしてくださいり、また「自分の不調に向き合うのは怖いから病院には行きにくい」と話される方もいました。また、ご家族の身体を気遣われ、相談をされる方もいました。このイベントをきっかけに、ご自身やご家族の身体と向き合い将来も健康に過ごすために意識して頂けると幸いです。

教育担当看護師長 鳥羽 真理子



高校生も血圧測定

医心伝心

からだの「ふるえ」のおはなし

いわゆる「ふるえ」にも、様々な種類があります。ふるえは、医学的に「振戦（しんせん）」と呼ばれます。振戦は、意思に関係なく体が動いてしまう症状の一つです。緊張や寒さからの生理的なふるえ（生理的振戦）は問題ありませんが、それ以外で出るふるえは病気の可能性もあります。

大きくはふたつの種類に分けられ、安静で力を抜いている時に出る安静時振戦と、ある姿勢時や動作時に出る振戦（姿勢時振戦、運動時振戦、企図振戦）があります。

安静時振戦はパーキンソン病に多くみられ、力が抜けている時に出て、動作をするとふるえは軽減します。



姿勢時振戦は本態性振戦や甲状腺機能亢進症などでみられ、カップや箸を持つなど一定の姿勢を保持した時に出ます。

運動時振戦・企図振戦は多発性硬化症・脊髄小脳変性症・脳卒中・アルコール依存症などでみられ、小脳と呼ぶ部位が原因のことが多いです。運動時振戦は手を動かす時などに出るふるえで、動作が終わるとふるえが止まります。企図振戦は動作時に目標物へ手が近づくとふるえが強くなり、目標物に達した後もその姿勢を保つとふるえが続きます。

原因によってふるえの特徴は異なり、治療法も異なります。原因は脳にあることが多い、脳のMRI検査やDAT（ドバミントランスポーター）シンチグラフィー検査などで鑑別が可能なことがあります。もし気になる体の「ふるえ」があるようでしたら、脳の検査を是非とも受けることをお勧めします。

脳神経内科医長 戸井 孝行

医療安全 管理室 だよ こんなことしています

こってから一次救命処置による心肺蘇生法がより早く実施されることで、救命率は高くなることが知られています。

また実施するのに専門的な資格は必要ありませんが、しっかりとした知識と技術を身につける必要があります。

今回の研修内容は、前半に『BLSについて・胸骨圧迫の方法・AEDについて』を講義形式で行い、後半は急変対応グループによる『傷病者発見～AED実施までのデモンストレーション』の後、人形を用いて実技練習を行っていただきました。

1・2・3・4…



コメディカル BLS 研修



参加部署は普段患者急変時に関わることの少ない検査科・リハビリ・薬剤部・療育指導室・放射線科等コメディカル12名を対象としました。

初めに精度の高い胸骨圧迫を行うための大手な点や、AEDの使用方法から院内に配置されている場所を把握し、いつ・どこでも急変時に対応できるよう講義を行いました。実技練習では人形に付属しているメトロノームで圧迫間隔を体感し、胸骨圧迫を絶え間なく続けることが体力的にも厳しいことなどを体験していただきました。

参加者からは『実際の急変時に対応できるようしっかり練習します』『急変時の対応を定期的に確認することが必要だと思った』等の意見がありました。

医療は日進月歩で日々の勉強が必要ですが、理解しているつもりでも常にアップデートが必要だと感じています。今後も定期的に様々な講習会を企画し学びを深めていくことで患者様に安心安全の医療を提供できるよう努力していきます。

医療安全部会 急変対応グループ
副診療放射線技師長 松本 直也

お気軽にお越しください

患者相談窓口

地域医療連携室の患者相談窓口は、患者や家族のあらゆる悩みや不安を伺い、解決策を共に考え、適切な医療や福祉サービスの利用につなげる“相談と連携の窓口”として機能しています。どんな些細な心配事でも気軽にご相談ください。

患者相談窓口の設置目的

- 患者さんやご家族が抱える経済的・心理的・社会的な問題の解決や調整を支援し、安心して治療や療養生活を送れるよう手助けすることが主な目的です。
- 医療・介護・福祉に関する疑問を解消し、適切な制度やサービスの紹介・利用を促進します。
- 病院同士や医療・介護・福祉機関と密接に連携し、患者さんの紹介・転院・退院支援・療養先の調整なども担います。



説明を受ける患者さんご家族



正面玄関入ってすぐ

主な相談内容

- 退院後の生活や介護・福祉サービス利用
- 医療費や各種助成制度の相談
- かかりつけ医や専門医療機関の紹介
- 病気や治療についての不安や疑問
- 医療・福祉に関する各種手続き
- 入院・転院や在宅医療に関する相談

利用方法

- 相談は無料、かつプライバシーポリシーを厳守します。
- 相談を希望する場合は、医師や看護師に申し出るか、地域医療連携室・患者相談窓口に直接来院、またはお電話ください。

患者相談窓口

電話：089-990-1923(直通)

相談時間：8時30分～17時15分

(* 土日祝・年末年始は除く)

対応者：医療ソーシャルワーカー(医療相談員)または看護師

ひと夏の思い出

ふれあい看護体験

7月28日(月)、夏休みを利用しての職業体験の一環として、「ふれあい看護体験」を実施しました。

当日は2名の高校生が参加し、今春リニューアルしたばかりの看護衣に着替え、病棟見学や血圧測定、ブラックライトを用いた手洗いチェック、手術前の手洗いとガウンテクニックの体験などに目を輝かせていました。

2人とも看護師志望ということもあって、積極的に質問する姿から熱意が感じられました。

体験終了後、感想を寄せていただきましたので、ご紹介します。

洗い残しが…



ブラックライト体験



血圧測定



I・Mさん

実際に患者さんと関わったり、ガウンテクニックや血圧測定などの体験もできて貴重な経験になりました。

看護師という職業への理解が深まったので、より興味が湧きました。看護服も着ることができてうれしかったです。

Y・Oさん

看護体験を通して、普段は入ることができない現場を見せていただくことで、看護師の仕事についてより興味が湧きました。

看護師の方々の明るく笑顔で働いている姿を間近で見ることで、大変さとやりがいのある素敵な仕事であると改めて感じ、貴重な体験ができて楽しかったです。

入院準備を LINEで サポートします

LINEアプリでQRコードを読み取ると
友だち登録できます。

※通信費に関しましては、
利用者のご負担となりますのでご了承ください。

友だち登録
お願いします



友だち追加

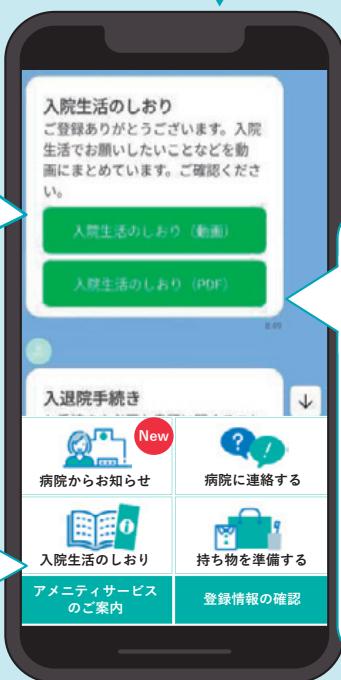
友だち登録いただくと…

01

入院までの
ご案内が動画
で届きます

02

資料を
いつでも
見返せます



03

- 登録日から入院予定日
7日後まで、期間限定で
病院とつながります。
- LINEアカウント名は
病院に通知されません。
- 登録した氏名等の
個人情報はLINEトーク
上に残りません。

※イメージ



独立行政法人 国立病院機構
愛媛医療センター

入院案内

四季燐餐

～栗の巻～

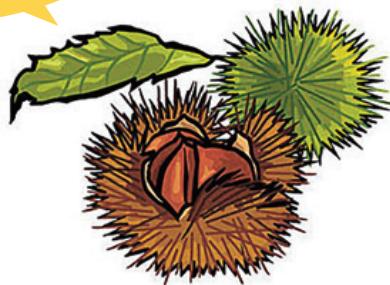
読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋、行楽の秋…みなさんにとって『秋』といえば何が思い浮かびますか？食欲の秋！と一番に思い浮かんだ人も多いかと思います。(私も食欲の秋が一番最初に思い浮かびました！)

食欲の秋という言葉の由来には諸説ありますが、秋はさまざまな食材が旬を迎えることから、美味しいものを食べる機会が増すというのがもっとも有力な説だと言われています。また、秋は暑さが和らぎ、過ごしやすい季節となってくるため、夏バテで低下していた食欲が回復する時期でもあり、秋は食欲が増したように感じるそうです。秋の味覚はいっぱい。さつまいも、里芋、さんま、梨、ぶどう…。秋はついつい食べ過ぎて太ってしまうという人は、注意が必要な季節でもあります。

秋の味覚である栗は愛媛県が生産量全国3位です(2024年)。モンブランや栗きんとんなどスイーツで食べるのも良し、栗ご飯や筑前煮にいれるのも良し。いろいろな料理にあう万能食材です。愛媛生まれ愛媛育ちの私にとって栗は、地方祭の時に食べる栗入りちらし寿司が特別なごちそうです。少し甘めに味付けし、クチナシで鮮やかに色付けした栗を贅沢に混ぜ込んだちらし寿司は、見た目にも豪華で、お祭りの気分も盛り立ててもらえたものです。

みんなの秋の味覚はなんですか？

おいしい栗には、
トゲがある。



関西弁に、魔法の言葉がある。それまでの自分の発言を不確定情報にしてしまえるまことに便利な言葉で「知らんけど」が、それが。妄想の翼を羽ばたかせ、どんな戯言を口にしようが、或いは、大風呂敷を広げて世迷言を呟こうが、最後に「知らんけど」と付け加えれば、責任を回避できる優れものだ。

用例を幾つか挙げると、トランプ関税全面撤廃やつて、知らんけど。石破さん総理大臣やめるんやつて、知らんけど。米の値段が元に戻るりしいで、知らんけど。ウクライナの戦争終わるらしいで、知らんけど。(注：拙稿を書いているのは、7月下旬です)といった具合だ。

1973年(昭和48年)に、豊川信用金庫事件を引き起こした女子高生も「信用金庫は危ないよ」のあとに「知らんけど」と付け加えていれば、あれほどの大騒ぎにはならなかつたかも知れない。一説によれば、元々関西地方ではよく使われていた言葉だが、2022年の「ユーキャン新語・流行語大賞」のトップに入つたことから、全国区に躍り出たらしい。

愛媛医療センターニュース編集委員の持ち回りでお届けします。

ちよつと言い放し

便利ではあるが、TPPをわきまえて使わないと、とんでもないことになる爆弾でもある。

例えば、我が国の大臣が、国会での答弁の最後に「知らんけど」と付け加えればどうなるか？

たちまち国会は紛糾、解散の大騒ぎ。メディアはこそつてこの発言を巡って批判特集を展開し、この大臣は大炎上必至だろ。

過去には「バカヤロー」のひと言で国会を解散させた総理大臣もいたことだし、私の予想もあながち外れてはいいなと思う。

まさかとは思うが、公の場で「知らんけど」と口にする大臣や国會議員が本当に出てくるほど、日本の政治家もバカではないだろうし、常識も破綻してはいないうだろ。知らんけど。

樹懶庵

…ということらしいで、
知らんけど



外来診療担当医表

内科外来直通電話 TEL.089-990-1834

外科外来直通電話 TEL.089-990-1835

診療科	診察室	午前・午後	月	火	水	木	金
循環器内科	6診	午前	船田	吉井	関谷	岩田	関谷
		午後			船田		
消化器内科	9診	午前	古田	廣岡	横山	久保	
		午後			古田		
糖尿病内科	12診	午前				奥平	
	9診	午前				宮崎	
	11診	午前			村上	宮崎(第4)	
呼吸器内科	午後						
	10診	午前	阿部	伊東	佐藤	三好	伊東
		午後					田邊
	11診	午前		渡邊		仙波	
		午後					
	8診	午前					山本
		午後	三好				
	8診	午前	尾原			尾原	
脳神経内科	12診	午前		戸井			戸井
		午後	大八木				
整形外科	14診	午前				石川	
	15診	午前	宮本		石川	宮本	
	16診	午前	青木	玉井	青木		玉井
消化器外科	14診	午前		鈴木	森本		
		午後					石丸
呼吸器外科	14診	午前					湯汲
小児科(神経外来)	14診	午後	菊池		桑原(第1・3・4)		菊池
					野間(第2)		

専門外来(予約制)	月	火	水	木	金
心臓外科外来(院内紹介のみ)	16診				泉谷
脳神経外科(院内紹介のみ)	14診		松本・大塚(午後)		
ペースメーカー外来	16診			第2・4(午後)	
フットケア外来	小児面談室			第1・3・5	
ペインクリニック	12診		山内(午前)		
アスベスト外来	14診		午後	午後	
息切れ外来	11診	渡邊(13:30~)			
S A S 外来	11診				渡邊(14:00~16:00)
頭痛外来	16診			永井(第2・4午前)	
神経難病	8診		橋本		
鼠径ヘルニア外来	14診		鈴木(午前)		
気胸外来	14診				湯汲(午前)
N T M 外来	8診		第2・4(13:30~15:30)		

※外来受付は8:30から11:00までです。内科は13:00から16:00までです。

2025年10月1日現在

ただし、土・日・祝祭日・年末年始(12月29日~1月3日)は休診です。

※ SAS(睡眠時無呼吸症候群) NTM(抗酸菌症)

独立行政法人国立病院機構 愛媛医療センター

〒791-0281 愛媛県東温市横河原366 TEL 089-964-2411 FAX 089-964-0251
ホームページアドレス <https://ehime.hosp.go.jp>

※弊紙の基本方針として、掲載写真については原則ご本人様の了解をいただいております。

※弊紙へのご意見ご要望ご感想は、当センター内病院新聞編集委員会(担当:小倉)までお寄せください。